



苦工同窓会 関東六華会

会報 第16号 2019. 4. 20

発行責任者

石堂 鉄雄

編集委員

櫻井 武春 松崎 利信
首藤 真史 瀬谷 政夫

”母校の創立 100 周年(2023)に 向けてさらなる絆を”

苦工同窓会支部「関東六華会」会長 石堂 鉄雄

関東六華会会員の皆様におかれましては御健勝のこととお喜び申し上げます。

同窓会支部活動に対し、日頃、温かいご支援、ご協力を賜わり心から厚く感謝申し上げます。

会長就任以来早 6 年になりますがその間、新たな企画で一人でも多くの会員の皆様に入会して頂こうと幹事の皆さんと努力して参りましたが、新規入会の方に比べて、総会案内の不達や、退会される方がおり会員数はわずかに減少しております。そこで昨年より学校では卒業生に同窓会入会式を行って、首都圏に就職する生徒さんに「苦工同窓会支部関東六華会」の案内と入会の PR をして会員の減少に歯止めをかけようと努力しております。

昨年は予定されていた行事をすべて無事開催できましたこと、ひとえに皆様方のご支援のたまものと厚く感謝申し上げます。活動状況は、年 4 回の定例の幹事会、四役会の実施、6 月に行われた総会・懇親会は会員と来賓を含めて、64 名の皆様にご出席して頂き大いに盛り上げました。また、恒例の行事になった“散策の会”では、「幕末の江戸歴史探訪」と題し、11 月に会員の皆様と交流を深めると共に自身の見識を深めて参りました。井伊大老が暗殺された「桜田門外の変」、その 2 年後に老中安藤信正の暗殺未遂事件「坂下門外の変」がなぜ起きたのか？ 戊辰戦争、上野戦争における西郷隆盛、勝海舟の動き等、興味津々楽しい 1 日となりました。

次に、学校関係では、今年 1 月早々、東京八王子市の日本工学院八王子専門学校体育館で開催された、ジャパンマイコンカーラリー 2019 全国大会に、全道大会団体 11 連覇を果たし、優勝した電子機械科 3 年羽毛友哉君、準優勝の同梅沢諒君が会場、試合の前々日に激励訪問、試合当日は会員有志の皆様と大声援で応援しました。残念ですが両選手とも入賞には至りませんでした。選手の皆さんや引率の先生にも大きな力になったと思います。

学校のホームページ (以下 HP) に引率の石橋先生の結果報告と、応援に対する御礼の記事が掲載されております。

当会の HP はリリースから 5 年を経過しました。

会の活動状況、記事を通じて懐かしいクラスの仲間との出会い、在校生の全国大会出場の記事からは生徒さん達の頑張りが伺われますので、是非、閲覧してみてください。HP は会員皆様の大事な資産です。幅広い年齢層の皆様からの投稿で、より充実した内容となり多くの皆様に閲覧頂けるものと思っております。是非、積極的に投稿いただいて、更に素晴らしい HP に育てて行きたいと思っておりますのでご協力頂きますようお願いしております。

会報につきましては、総会案内に同封してお届けしていますが、更に内容を充実したいと思っておりますので、HP 同様にこれからも皆様の積極的な投稿をよろしくお願いいたします。同時に、前年度に年会費を納入して頂いた皆様に、同窓会本部の会報「六華」をお



届けしております。同紙は学校の様子や同窓会本部の動向も伺い知ることが出来ますのでご活用下さい。

なお、今年度分として年会費を納入して頂いた皆様には来年のこの時期のお届けになります。

今年度の予定は、ご案内の通り 6 月 15 日 (土) に総会・懇親会の他、時期は未定ですが東京都内／近郊の散策の会、12 月には忘年会の開催となっています。

開催が近づきましたら HP でご案内しますので多数の皆様のご参加をお待ちしております。

最後に、関東六華会は「母校創立 100 周年に向けてさらなる絆」をスローガンに 100 周年が盛り上がるよう活動をして参りますので、引き続き皆様のご協力、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

苦工同窓会支部「関東六華会」

令和元年度

総会・懇親会開催のご案内

開催日時 6 月 15 日 (土)

午前 11 時 30 分～
(受付 11:00～)

開催会場 銀座ライオン七丁目店 6 階
銀座クラシックホール

“母校を想い、さらなる絆を”

<http://rokkakai.web.fc2.com/>

関東六華会 総会・懇親会に参加して
苦工同窓会本部副会長 佐々木 弥生

平成30年度関東六華会 総会・懇親会に参加させて頂きました佐々木弥生（h07 建築）と申します。平成28年度に続いて2回目の参加になりますが、総会での活動報告などを拝聴させていただいたあと、最大の楽しみの懇親会が始まりました。

私が本部や支部での同窓会行事に参加させて頂いているのは、諸先輩の当時のお話を伺えることが最大の理由です。

高丘の新校舎しか知らない私にとっては、旧校舎のことや列車通学の武勇伝、当時の授業料の話など、貴重で生々しい話を披露して下さいに魅了されております。遠く故郷を離れ、長い時を歩んでこられた諸先輩に、苦工卒業生という誇りがひしひしと感じられました。この懇親会での交流は、元気を頂くばかりでなく、私も後輩にそれを伝え



ていきたいと思えます。

私も社会人としてはもう中堅となりましたが、これまでに未熟な自分が、多くの先輩方に助けられた経験が数多くありますので、自分も微力ながら後輩へ還元していきたいと思えます。

最後に、在校生や卒業生が、オリンピックや全国大会で東京にて行われる試合を捉えて、関東六華会の皆さんが応援して頂けることは、選手にとって大きな力になっていることでしょう。苦小牧から駆け付けられない私たちの分も背負って、声援を送って下さることに感謝申し上げます。

5年後の苦小牧工業高校創立100周年事業に向けて、全会員、そして同窓会に今まで参加することの無かった卒業生にも、多感な高校時代を思い出し、一緒に盛り上げていきたいと思えます。

関東六華会の皆様、今後ともご協力とお力添えを宜しくお願い致します。

平成30年度 関東六華会 総会・懇親会 (6月16日：銀座ライオン7丁目店6階)

活動状況報告



菅原幹事(司会) 佐々木幹事長 石堂会長 伊藤監査役

本部来賓

来賓の皆様



三石副会長 田中会長 佐々木副会長 佐々木苦小牧市東京事務所所長

資料を見入る会員の皆さん

坂本顧問“乾杯”

熱唱“歌手 SACHI さん”

抽選会の景品“当たり”



来賓の皆様

今回、初参加の皆さん



高石 支部長 齊藤 理事 堀川さん 遠藤会長 苦高専 樽前会 関東支部 苦西校 関東樽前会



田中さん 翠さん 瀬高さん 松田さん 鈴木さん 村田さん

“最年少&最年長”会員

楽しい懇親会、最後は肩を組んで“校歌斉唱”

苦工応援歌 フー！フー！



土木科・建築科・電子/通信科・工化科・本部・来賓



上段左から 松田 (土 h04) 篠原 (土 s43 : 幹事) 会津 (建 s43) 三上 (土 s49) 鈴木 豊 (電子 s49) 松崎 (土 s43 : 幹事)
 金本 (電子 s45 : 監査役) 菱川 (電子 s45) 杉本 (電子 s63) 三橋 (工化 s41:会計)
 中段左から 櫻井 (通信 s38:幹事) 佐々木 孝 (土 s39) 竹田 (土 s36) 早坂 (土 s35) 南部 (建 s41 : 幹事) 田中 (建 s43)
 山崎 (工化 s35) 吉田 博 (建 s39) 翠 (建 s43)
 下段左から 瀬高 (工化 h08) 齊藤 苦高専樽前会関東支部理事 高石 苦高専樽前会関東支部 支部長 堀川 苦西校関東樽前会
 石堂会長 (土 s39) 田中本部部长 (土 s33) 佐々木 苦小牧市東京事務所所長 三石本部副会長 (電 s49)
 佐々木本部副会長 (建 h07) 遠藤 苦西校関東樽前会会長

電気科・機械科・電子科



上段左から 村田 (電 s40) ニッ屋 (機 s42) 菅原 (機 s45 : 幹事) 鈴木 正 (機 s43) 野本 (機 s43 : 幹事)
 瀬谷 (機 s50 : 幹事) 大澤 (電 s43 : 幹事) 伊藤 (電 s38 : 監査役) 松平 (機 s43) 日高 (機 s59) 山本 (電 s39)
 小野寺 (電 s45:幹事) 三浦 (機 s60 : 幹事)
 中段左から 吉田 秀 (電 s39 : 副会長) 橋本 拓 (電子 s43) 阿部 (電 s36) 橋本 雅 (電子 s43) 佐々木 明 (機 s45 : 幹事長)
 神馬 (電 s37) 工藤 一 (電 s49) 福澤 (機 s45:副幹事長) 松田 (電 s36:幹事) 馬淵 (電 s39) 首藤 (電 s43 : 幹事)
 下段左から 藤井 (電子 s43) 岡山 (機 s35) 工藤 勝 (電 s31) 坂本 (電 s31) 駒米 (電 s36) 三石本部副会長 (電 s49)
 大日向 (電 s35) 中村 (電 s35) 櫻田 (電 s34) 伊東 (機 s36)

“頑張れ！ 苦工”（詳細:HP参照）

「ジャパンマイコンカーラリー全国大会」応援

平成31年1月13日（日）、日本工学院八王子専門学校総合体育館で開催された同全国大会に北海道代表として、苦工在校生2人が出場しました。昨年12月、苦工で開催された北海道大会では1位～5位を独占の11連覇を果たして、全国大会に北海道代表として今年も来てくれました。

全国大会は、電子機械科3年の羽毛友哉君と梅澤諒君が Advanced Class に出場しました。全国代表の76台による完走のタイムを競うレースですが、完走することさえ難しいコース設定をマイコンカーの鼻先センサーで先読みして、解析・予測・駆動・制動・ステアリングしながらスピードを競う高度な競技です。残念ながら入賞は叶わずでしたが、両名とも完走を果たし、羽毛君が全国25位（76台中）、梅澤君27位と健闘してくれました。

今年もシルバー応援団11名が駆けつけて“頑張れ！ 苦工”の大声援で応援をして来ました。お疲れ様でした。

引率の石橋先生から、学校HPに結果報告と応援へのお礼の言葉が掲載されています。

卒業後の新たな進路でも“頑張れ！ 羽毛君”“頑張れ！ 梅澤君”応援しています。



後列：菅原(s45 機)、坂本(s31 電)、大澤(s43 電)、南部(s41 建)、佐々木(s45 機)、櫻井(s38 通) 石堂(s39 土)、福澤(s45 機)、伊東(s36 機) 前列：吉田(s39 電)、石橋先生、羽毛君、梅澤君



SOLUTION CATEGORY



ピーエスシーでは IT 技術の未経験者からベテラン技術者まで、様々なフィールドでご活躍いただける技術領域・職種がございます。

詳しくはホームページをご覧ください。 <https://www.psc-recruit.com/recruits/>

■新卒採用 ■ IT 未経験者採用 ■ IT 経験者採用

株式会社ピーエスシー 東京都港区芝公園 2-2-18 オーク芝公園ビル

【設立】1996年9月 【代表】鈴木正之 【事業内容】IT サービス

【社員数】602名(2018/4)

【連絡先】経営管理部 採用担当宛 saiyo@psc-inc.co.jp

散策「幕末の江戸歴史探訪」に参加して
s45 機 菅原雅和

2018年11月10日(土) 好天の中を参加者11名が、三田駅近くの三菱自動車(株)本社前の「西郷隆盛・勝海舟会見の地碑」前に集合、往時は海に面した荷揚げ埠頭でもあった薩摩藩蔵屋敷があって、勝海舟と西郷隆盛の決死の会見で江戸総攻撃前日に無血開城を実現しました。

ここから徒歩で薩摩藩上屋敷跡へ、現在はNECビルが建っている辺りの広大な敷地に上屋敷があったが、幕末の動乱期に薩摩藩が困る浪士達により、江戸市中の放火や狙撃など、犯罪の嫌疑により幕府方に焼き討ちにされました。この事件が戊辰戦争の発端となりました。



後列：菅原、大澤、野本、南部、櫻井、福澤、伊藤
前列：石堂、篠原、佐々木、吉田

続いて赤坂6丁目にある勝海舟の邸宅跡を經由して、国会議事堂前の井伊大老屋敷跡へ、ここから江戸城桜田門まで歩きながら、「桜田門外の変」を解説、大老の行列を見物する大勢の衆目前での凶行でしたが、幕府はこの事件を公にせず、後に病死としたそうです。引き続き徒歩で桜田門を通り坂下門前に到着です。

ここは桜田門外の変の2年後に起きた、老中安藤信正の暗殺未遂事件「坂下門外の変」のあった場所です。信正は刀傷を負いながら坂下門に避難しましたが、やはり襲撃で幕府の威信失墜と判断され、その後老中職を解かれて左遷になっています。何とも奇々怪々な審判です。



皇居前から上野広小路松坂屋前に移動、アメ横での昼食後に上野戦争の史跡探訪です。

徳川家擁護を唱えて上野山に集合した士族達(彰義隊)が、江戸開城を果たした官軍と戦ったのが上野戦争である。官軍が上野山の三方(黒門、谷中門、不忍池向)から一斉に攻撃、彰義隊も大砲や銃で応戦しましたが、装備や兵力の差は如何ともし難く、ほぼ半日で決着がついたそうです。官軍も上野山の根岸側(今のJR線側)には兵を置かず、棄戦者を逃すことにしたようで、上野山が延焼した夕方には大方逃亡したそうです。上野山全体が徳川家の廟所であり、寛永寺には沢山の伽藍も存在しましたが、この時に殆どが焼失しています。焼けた寛永寺境内には彰義隊の死体が累々と転がっていたようで、官軍の命令でその後も数ヶ月間捨て置かれたそうです。

上野松坂屋(西郷軍本陣)、最初の攻防線三橋、小料理屋(二階から砲撃)、黒門の突破、彰義隊墓碑、清水堂奉納の砲弾、弾痕残る旧本坊門扉などを見ながら谷中霊園に向かいます。途中(国立博物館の裏側)歴代将軍と正室の霊廟があり、第13代将軍家定と篤姫の墓などが豪華な門構えに守られて多数並んでいました。寛永寺根本中堂の傍には、最後の将軍徳川慶喜が江戸で蟄居謹慎した屋敷もありました。

そのまま霊園に進むと、江戸時代の徳川家ゆかりの立派な墓碑が立ち並ぶ中に、一角が囲われた慶喜と正室の墓所(神道式)がありました。

谷中霊園から芋坂を抜けてタクシーで円通寺へ移動、ここには彰義隊士の墓や上野寛永寺の正門であった弾痕の穴だらけの黒門がありました。上野山に放置された彰義隊士の骸を見かねて、

次ページへ

日々異なる20種類以上の
おぼんざい大皿料理をご用意!
大人の隠れ家!

ふるさとの味 螢 ほたる

〒103-0014
東京都中央区日本橋蠣殻町2-5-4
パークハイツ日本橋蠣殻町2F
地下鉄半蔵門線水天宮前5番出口から1分
TEL: 03-5652-5988

定休日: 日曜日/連休になる祭日
営業時間: 昼 11:00~14:00
夜 17:00~23:30



円通寺住職が打首覚悟で官軍と交渉して、この地に埋葬を認めさせたそうです。その縁で戦争遺蹟として円通寺に移設されたもので、20mmほどの貫通痕が生々しく威力を実感しました。

待たせていたタクシーで南千住の回向院へ、幕末の「安政の大獄」で処刑された吉田松陰、橋本左内や「桜田門外の変」の実行犯、また小塚原で刑死した罪人（鼠小僧、高橋お伝・）が葬られています。また、杉田玄白らが解体新書の編さんで刑死体を解剖（腑分け）したのもここで行われたそうです。

小塚原刑場は火罪、磔、獄門の刑場であり、廃止されるまでの200年間に20万人が処刑されたそうです。当時はこの辺一帯が埋葬地であって野犬やイタチが群がっていたそうです。小塚原刑場跡には



250年前に建立された高さ3mほどの首切り地蔵があります。地蔵さんも毎日の様に処刑される罪人の吊いに大変であったろうと感じました。

今回の散策で幕末に思いを馳せる機会を得ることが出来ました。

時代の変革には、多くの人が犠牲になると言われます。この時代は多くの日本人がそれぞれの信条・立場で命を落とさざるを得なかった思いに、敬意を覚えつつ広範囲に渡った今回の散策を完走しました。

今回も「散策締め会場」が設けられ、全員で喉の渇きと足腰の疲れを癒やすことが出来ました。

今回の散策の会を準備・資料作成/配布・現地での詳しい説明をして頂いた櫻井さんに感謝申し上げます。楽しい一日でした。

苦小牧へUターンして 佐藤朗暢(h08 工化)

関東六華会の皆様には、東京で料理長として勤務していた「魚串炙縁」にお出掛け下さいまして、有難うございました。お世話になりました。

2年前、苦小牧にUターンして錦町に「創作四川料理 廣明 HIROAKI」をオープンしました。19年振りに帰省した苦小牧は、かつての駅前通りの賑わいは無くなり、シャッター通り化している状況で、錦町境界の飲食店もお店の入れ替わりが激しくなっている状況にあります。そんな状況に歯止めを掛け、「復活繁栄」を目標に「新規創業セミナー」の中で、ぶれない軸を作るために、自らの経験を基に「何のために、誰のために、なぜ創業するのか？」という目標をしっかりと認識して貰える様な講義をさせて頂きました。その結果として、年々参加人数は増加傾向となり、苦小牧市の昨年度の「創業補助金」も満額交付になったほど盛況になりました。

「故郷を活性化する」「地元へ恩返しする」「大切な人を幸せにする」この3つの志を胸に、生涯をかけて『苦小牧を道内一の美食の街にする』を叶え

ることが私の夢であります。その夢を現実として叶えるため、宮城県気仙沼から直送で仕入れする「気仙沼産ふかひれ」で作る「ふかひれ姿煮」を中心としたコース料理を完全予約制で提供させて頂いています。

なお、2018年12月には「株式会社喜心 Style」を設立、代表取締役兼 Owner chefとして日々、創作四川料理をお客様にご提供しています。

苦小牧に帰省の際には是非ご利用して頂けたら幸いです。



「創作四川料理 廣明 HIROAKI」

TEL : 0144-84-7249

〒053-0023

苦小牧市錦町 1-6-11

NPビル2F

海をきれいにしよう

潜水から特殊海洋工事まですべてお任せ下さい

株式会社 廣瀬産業海事工業所

専務取締役 京葉支店長 篠原和行(土木43年卒)

〒299-0245 千葉県袖ヶ浦市蔵波台1-4-67

TEL 0438-53-8521 FAX 0438-53-8521

URL : <http://www.hirosekaiji.co.jp>



150T ウインチ



250T 吊クレーン船「幸栄」



270kw バイプロハンマー

苦工同期会便り (詳細:HP参照)

s36 電 同期会開催

平成30年10月24日(水)、札幌ススキのホテル東急インの中華料理店にて10名(関東3名)で開催。北海道は2年振りの開催でしたが、9月6日の胆振東部地震の影響で、声かけは限定して開催しました。翌日は高原君の車で松田君と一緒に苫小牧で「ホッキ丼」の昼食後、震源地である安平町(故郷)の役場を訪問してきました。関東六華会役員の三橋君が同町早来出身で、実家の復興で帰郷していたので、慰問に立ち寄りました。

東京クラス会は12月1日、都内の「うすけぼー」に10名が集まり、お互い元気を喜び、エネルギーを分かち合いました。来年は「喜寿」、温泉地での開催を約束して有意義な一時を満喫しました。(駒米 隆)



後列： 田沢、松田、瀧野、及川、井齋、駒米
前列： 土田、西村、北館、佐藤

s39 土 クラス会(きつつき会)札幌で開催

平成30年10月12日、札幌すみれホテルにてクラス会が開催され、18名(道外2名)参加して楽しい時間を過ごしました。今回も中原先生(通称きつつき)が元気に参加されて心温まる話を聞かせて頂きました。来年は先生が88歳(米寿)になるので、お祝いを兼ねて支笏湖丸駒温泉で盛り上げようということになりました。今から楽しみです。

東京では9月15日、上野・銀座ライオンにて7名

(竹瀬、藤谷、鎌田、上田、長尾、石堂、佐々木) 参加で開催しており、その様子を札幌クラス会で報告しました。
(石堂鉄雄)



後列：小原、宮村、斎藤、吉岡、吉川
中列：山田、前田、中村、上松、松村、松田
前列：佐々木(晃)、林田、上田、中原先生、大宮、石堂、佐々木(孝)

s43 卒同期(43会)忘年会開催

平成30年12月8日(土)上野駅前の「日本海庄上野店」に13名が集まり、盛り上がりました。

参加者は土木、建築、電気、機械、電子の皆さんで、



後列：田中(機)、鈴木(機)、橋本雅(電子)、松崎(土)、翠(建)
前列：野本(機)、篠原(土)、大澤(電)、田口(電子)、藤井(電子)

まだ顔と名前が一致しない同士でしたが、学生時代の様々な話で盛り上がり、中でも近くに座っていた松原さんと田中さんがバドミントン部でダブルスを組んでいたのに、お互いの変貌ぶりで気付かず大うけでした。

閉会后、所要のあった3名を除き、カラオケで再び盛り上がった後、上野駅前にある集団就職を歌った井沢八郎の『あゝ上野駅』歌碑前で記念撮影。

(翠 和幸 s43 建)

スペースの都合で他2件が掲載出来ませんでした。

HPをご覧ください。

s38 通 同期会開催(12/5)

s43 電 同期会開催(31.3/9)



株式会社 Heart in LINE

代表取締役 瀬高 伸郎

(平成8年工化卒)

ハートインラインはお客様のイメージの具現化に向けて全力でサポートいたします。

■本社 〒331-0821
埼玉県さいたま市北区别所町106-18

■支社 〒115-0055
東京都北区赤羽西4-1-13 culfe205

URL: <http://heart-in-line7.co.jp/>

E-mail: info@heart-in-line7.co.jp

Tel: 048-652-1485 Mobile: 090-2436-5506

事業内容

ホームページ制作
イラスト・漫画制作
動画制作
SEO対策

お客様と心で繋がっていくサービスをご提供いたします。

“カーリング談義” 鈴木正夫(s43機)

2018年2月、平昌オリンピックのカーリング競技では、ロコ・ソラーレ (LS) 北見が見事 銅メダルを獲得した事はまだ記憶に新しい。

私は銅メダルメンバー (鈴木夕湖) の母を通して応援団 (千歳組と羽田組で総勢17名) に加えて頂き、昨年の2月16日金浦空港へ。空港から平昌までのバスに乗車するも、車内の後部から煙がモクモク、高速道の途中で荷物を降ろして修理、その場にパトカー来る等大騒ぎに見舞われ、宿泊のペンション到着まで3時間を要しました。

応援は早朝6時にバスで出発して会場 (江陵) まで90分、更にカーリング会場まで入口から遠く足は棒のようになり、宿への戻りは夜中の1時でした。宿は3部屋に12名の予定が、大混雑で17人の雑魚寝状態で、我慢我慢の応援旅でした。

このカーリング競技の黎明期 (発祥時) には我が鈴木家 (親族) も大いに関わり、またロコ・ソラーレ北見のメンバーにも鈴木家の親族が参加しました。

カーリングが競技として定着したのは、北海道の

常呂町 (合併で北見市) とカナダ・アルバータ州の姉妹提携を縁で行われた「カーリング講習会」が、その歴史の始まりで、当初はビールのミニ樽を利用した手作りストーン等で行われていました。

この普及に取り組んだのが私の兄の鈴木克己 (苦工機械41年卒)、従弟鈴木繁礼 (NPO法人常呂カーリング倶楽部の事務局長、現常呂カーリングホール館長)、従弟の鈴木億宝 (ロコ・ソラーレ北見・選手の鈴木夕湖の父) 達で、今日の発展に繋がったと思います。

ロコ・ソラーレ北見の銅メダルメンバーは、藤澤

五月・吉田知那美・鈴木夕湖・吉田夕梨花・本橋麻里の5人で常呂町育ちです。「指導者：小栗さん」の下に本橋麻里 (まりりん) に誘われた藤澤五月、鈴木夕湖は小学校2年生からカーリングを始め、同級生の吉田知那美と2歳年下の妹である吉田夕梨花姉妹と一緒に練習・プレーをしていました。鈴木夕湖と藤澤五月は、父親が従兄弟同士で二人は「はとこ」であり私とは親戚関係にあり大変光栄です。

ロコ・ソラーレの妹分「ロコ・ステラ」が誕生、男子では「コンサドーレ」が常呂を本拠地にして頑張っております。次回のオリンピックに期待です。



鈴木正夫 鈴木夕湖



Refrigeration transport & Marine container transportation

KTR 株式会社 国際低温流通

基本理念

社会と社会を結ぶ重要な役割を担っている物流業者としての自覚を新たに、現場に対する徹底した教育により質の高いサービスを提供し、お客様とともに繁栄すること

保有車輛群

新社屋

クレームのゼロ化の推進

無事故の推進

お客様第一主義の徹底

社内教育の徹底

重点目標

同窓生の皆さん管理者&ドライバーを募集しています。お気軽にお問合せください。電話:045-773-5751

KTRの樹

株式会社 国際低温流通 (設立:平成12年2月1日)
 代表取締役 日高 広秋 (昭和59年機械科卒)
 〒236-0002 横浜市金沢区鳥浜町13-10
 TEL 045-773-5751 FAX 045-773-5741

営業所:本社・横浜・千葉
 一般貨物自動車運送事業:関自振第662号
 ISO9001認証取得

保有車輛:大型冷凍車他90台
 社員総数:60名
 引先:大手食品会社他多数